

平成31年

災害概況
(1月から12月)

かすみがうら市消防本部

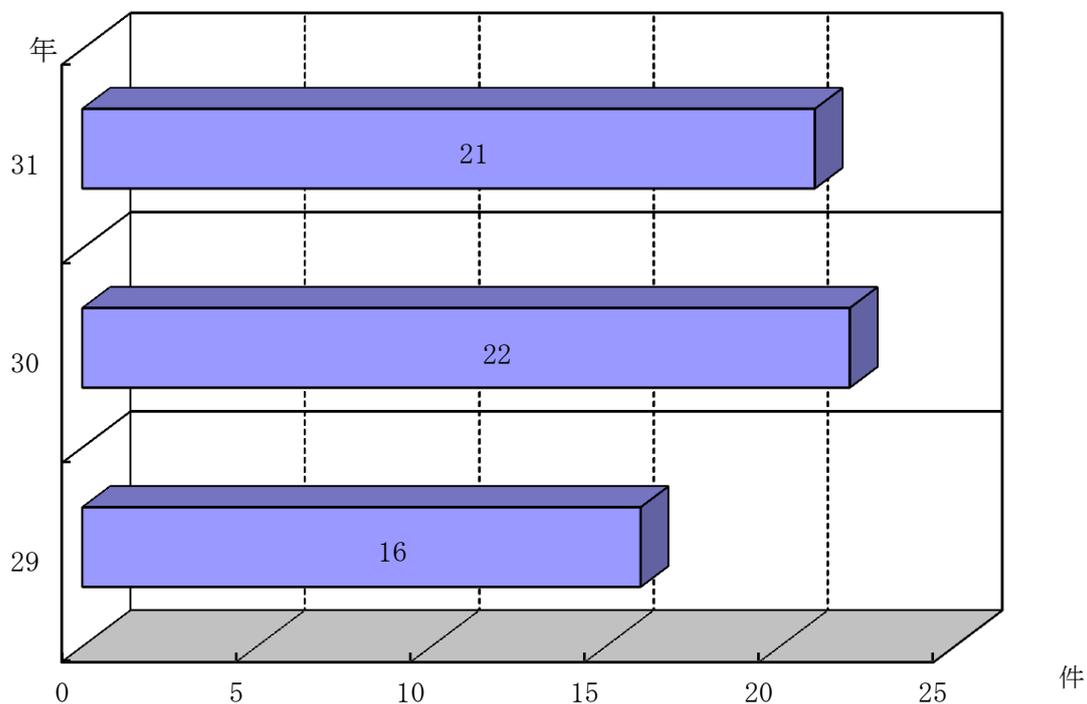
火災発生状況

月別	署別			火災種別				焼損棟数				焼損面積		死傷者数		り災世帯数			り災者数	計	損害見積額(千円)					
	計	西消防署	東消防署	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	林野	死者	負傷者	計	全損			半損	小損	建物	林野	車両	その他
1	2	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	1	105	1	0	0	1	0	0	1	2	1,199	1,199	0	0	0
2	2	1	1	2	0	0	0	3	2	0	1	0	545	0	0	0	1	1	0	0	4	54,615	54,615	0	0	0
3	3	2	1	2	0	0	1	5	1	0	4	0	113	0	0	2	4	1	0	3	8	5,943	5,943	0	0	0
4	2	2	0	2	0	0	0	2	1	0	0	1	19	0	0	0	1	0	0	1	5	19	19	0	0	0
5	3	0	3	3	0	0	0	3	1	1	1	0	211	0	0	0	5	0	4	1	11	26,958	26,958	0	0	0
6	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	22	0
7	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	100	0
8	2	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	577	327	0	250	0
9	2	1	1	1	0	0	1	2	1	0	0	1	99	0	1	0	2	1	0	1	4	2,442	2,082	0	0	360
10	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3,000	0	0	0	3,000
11	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	12	0	0	0	2	0	0	2	5	1,695	1,695	0	0	0
合計	21	11	10	13	1	3	4	19	8	1	7	3	1,109	1	2	4	16	3	4	9	39	96,570	92,838	0	372	3,360

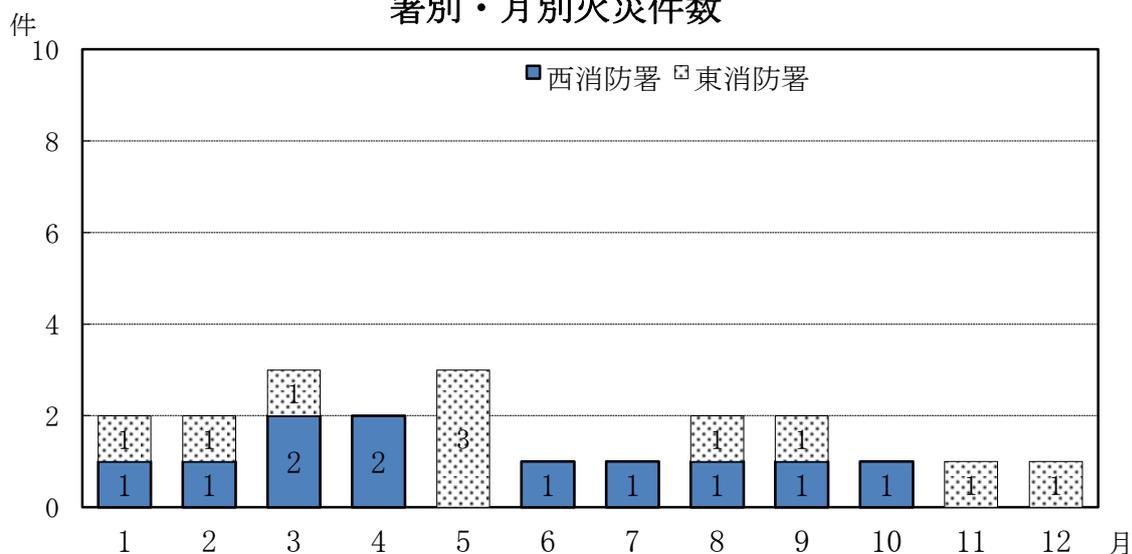
署別	11	西消防署	5	1	3	2	8	2	0	5	1	465	1	1	2	6	1	0	5	13	28,179	24,447	0	372	3,360
	10	東消防署	8	0	0	2	11	6	1	2	2	644	0	1	2	10	2	5	3	26	68,391	68,391	0	0	0

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。過去3年間におけるかすみがうら市内の火災件数は下表の通りである。

過去3年間火災件数

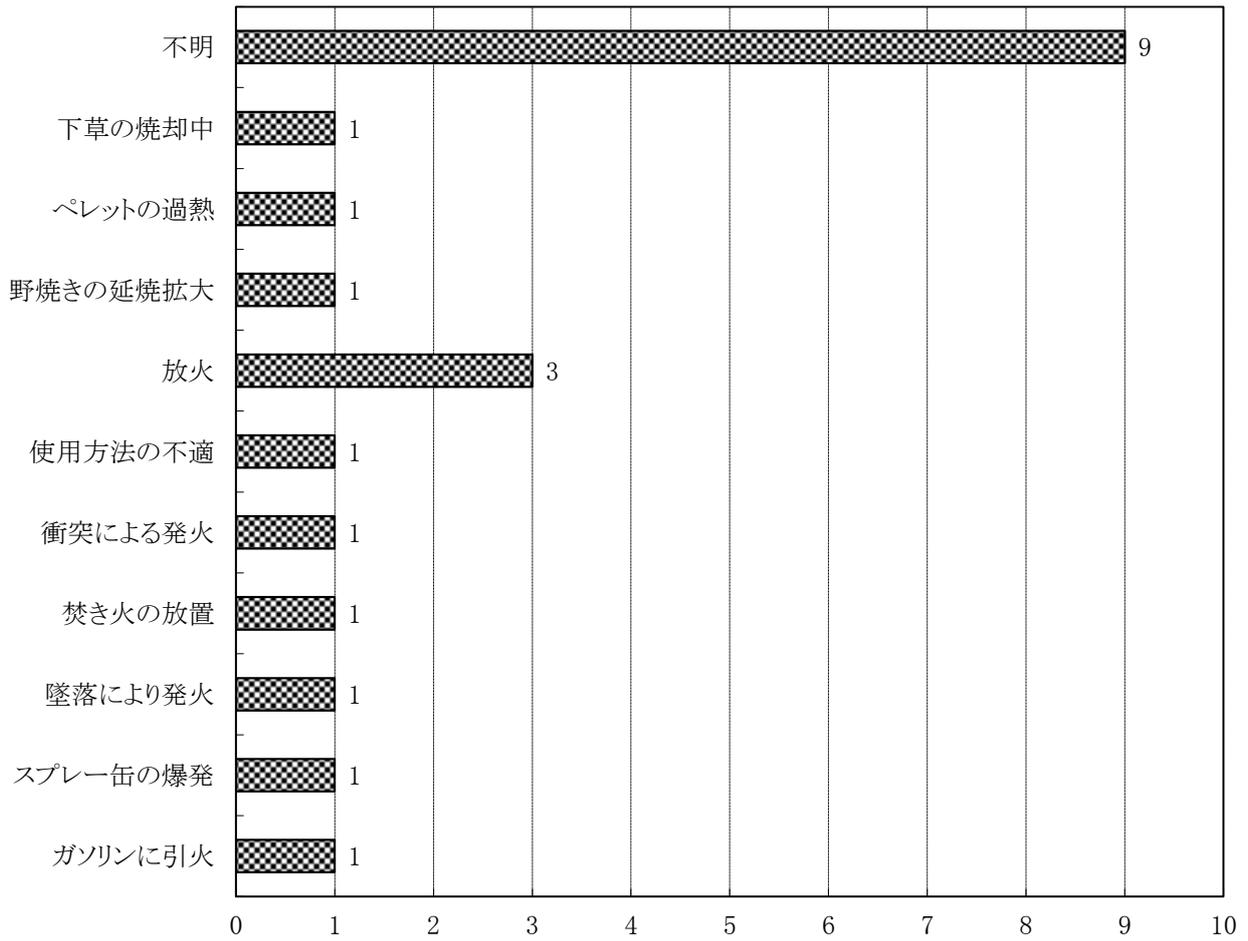


署別・月別火災件数



出火件数を四季別でみると第1四半期（1月～3月）7件、第2四半期（4月～6月）6件、第3四半期（7月～9月）5件、第4四半期（10月～12月）3件となっている。火災は火気使用頻度の多い冬から春先にかけて多く、高温、多湿の夏季は比較的火災が少ないのが例年の状況であるが、平成31年中は一年間を通して火災が発生している。

原因別火災件数



火災・救急・救助以外の出場件数

出場種別	署 別		
	計	西消防署	東消防署
非 火 災	15	10	5
危 険 排 除	31	22	9
怪 煙 偵 察	9	5	4
誤 報	2	1	1
管 外	0	0	0
そ の 他	487	310	177
計	544	348	196

月別・事故種別救急出場件数

月別	署別		事故種別											計
	西消防署	東消防署	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
1	103	75	1	0	0	14	0	0	23	0	0	139	1	178
														0
2	88	57	2	0	0	16	3	1	23	0	2	98	0	145
	(3)											(3)		(3)
3	90	52	5	0	0	16	1	0	19	0	0	98	3	142
	(2)					(1)						(1)		(2)
4	87	64	1	0	0	5	2	1	25	0	1	115	1	151
														0
5	89	63	4	0	0	12	0	0	25	1	0	109	1	152
														0
6	83	52	1	0	0	9	4	3	14	1	3	99	1	135
														0
7	88	58	2	0	0	16	1	2	22	0	2	98	3	146
	(4)					(1)						(3)		(4)
8	99	74	2	0	0	21	2	2	27	1	1	116	1	173
	(1)											(1)		(1)
9	91	51	2	2	1	8	3	0	27	0	2	97	0	142
	(1)					(1)								(1)
10	94	64	2	0	0	17	2	1	29	1	3	100	3	158
	(1)											(1)		(1)
11	90	69	2	0	0	14	2	2	33	2	0	103	1	159
	(3)					(2)						(1)		(3)
12	110	78	1	0	0	13	4	0	31	0	2	133	4	188
														0
合計	1,112	757	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	19	1,869
	(15)	0	0	0	0	(5)	0	0	0	0	0	(10)	0	(15)

※ 下段 () 内は、高速道路の出場件数を表す。

署別	西消防署	15	0	0	98	13	6	180	4	13	772	11	1,112
	東消防署	10	2	1	63	11	6	118	2	3	533	8	757

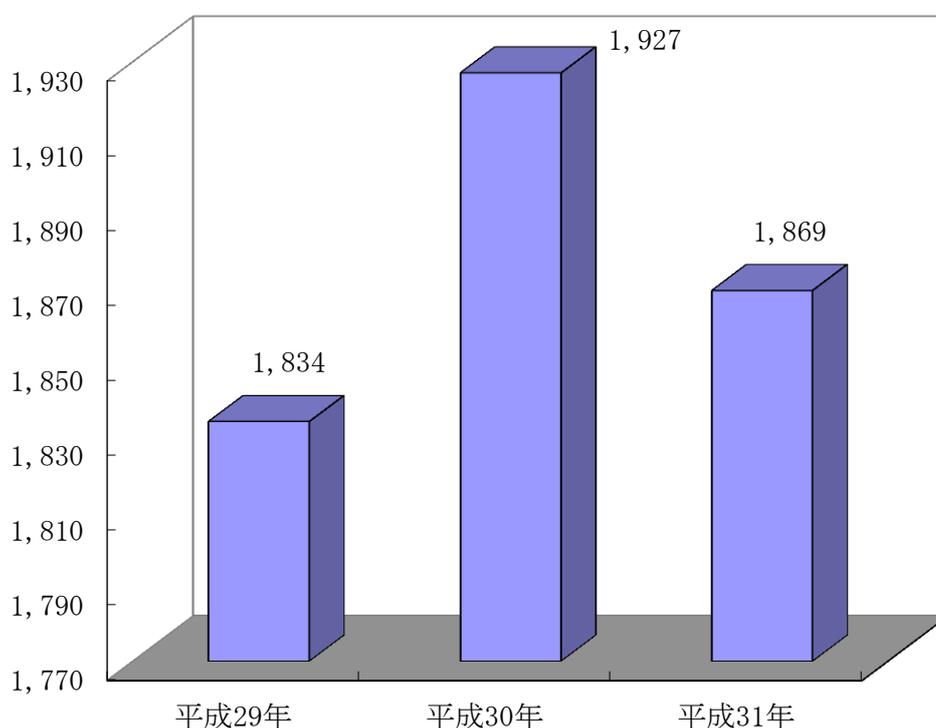
救急出場件数の推移

年別	事故種別	出場件数	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成29年		1,834	12	0	4	229	18	23	269	11	15	1,228	25
平成30年		1,927	24	0	2	222	24	13	263	5	15	1,334	25
平成31年		1,869	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	19

救急業務は、昭和38年に市町村の消防機関の事務として法制化され、平成3年8月には、プレホスピタル・ケア充実のため、救急隊員の行う救急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行う救急救命士の制度が設けられた。

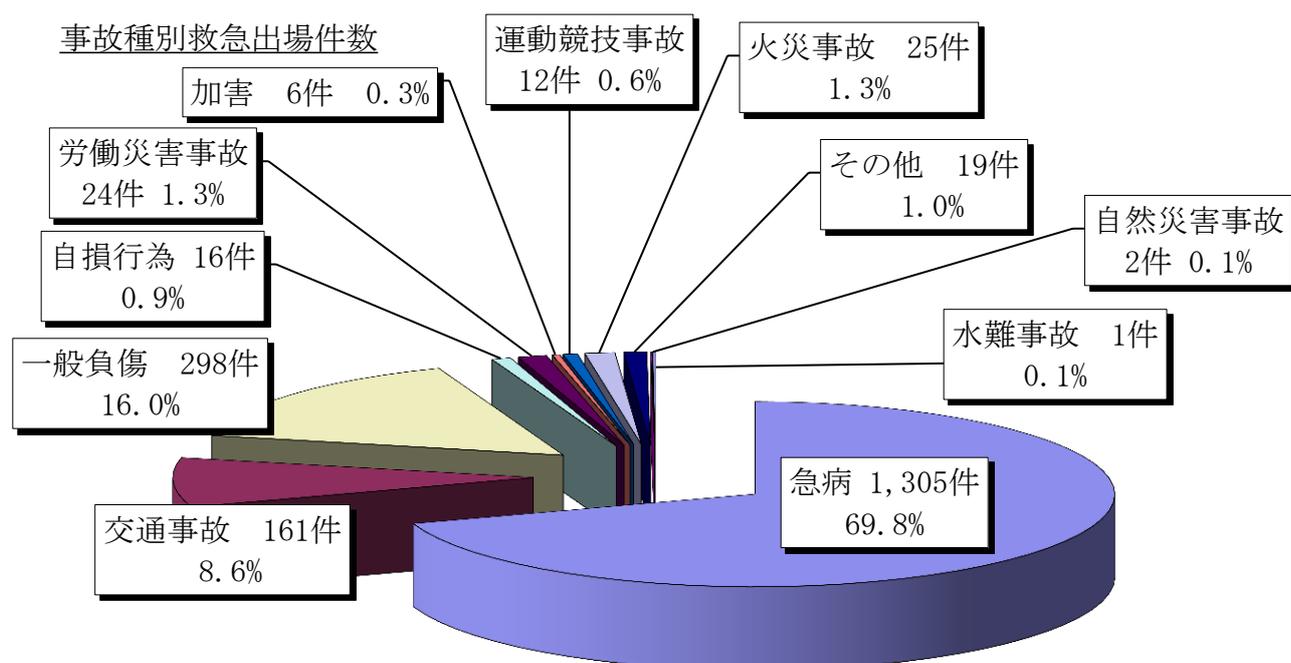
平成15年4月から、救急救命士が行う処置は順次拡大され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。過去3年間におけるかすみがうら市内の救急出場件数は下表のとおりである。

平成31年における市内の救急業務実施状況は、救急出動件数1,869件、搬送人員1,740人であり、1日平均5.1件の割合で救急隊が出動し、市民の約24人に1人が搬送されたことになる。減少の理由としては、昨年と比較し夏季時期における急病件数が減少している傾向がある。特に7月を比較すると、平均気温が4度低く、熱中症の件数も昨年の48件から10件減少し、38件となっている。このことから、気温の低下が熱中症件数の減少や疾病の悪化減少に結びついたと考えられる。また市内の交通事故による出場要請件数が減少していることがあげられる。



事故種別救急活動状況

種 別 出場・搬	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
出 場 件 数	1,869	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	19
搬 送 件 数	1,721	4	0	0	149	24	12	282	4	12	1,227	7
不 搬 送 件 数	148	21	2	1	12	0	0	16	2	4	78	12
搬 送 人 員	1,740	4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7



事故種別の定義

- 火 災 事 故 ・ ・ 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう
- 自 然 災 害 事 故 ・ ・ 暴風，豪雨，豪雪，洪水，高潮，地震，津波，噴火，雪崩，地すべりその他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう
- 水 難 事 故 ・ ・ 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう
- 交 通 事 故 ・ ・ すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関と接触したことなどによる事故をいう
- 労 働 災 害 事 故 ・ ・ 各種工場，事業所，作業場，工事現場等において就業中発生した事故をいう
- 運 動 競 技 事 故 ・ ・ 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者，審判員及び関係者等の事故をいう
- 一 般 負 傷 ・ ・ 他に分類されない不慮の事故をいう
- 加 害 ・ ・ 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう
- 自 損 行 為 ・ ・ 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう
- 急 病 ・ ・ 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう
- そ の 他 ・ ・ 転院搬送，医師搬送，医薬資器材等輸送，その他の種別に分類不能のもの並びに誤報及びいたづらをいう

年齢別・事故種別搬送人員

種 別 性別・年齢	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	然	難	通	働	動	般	損	病	の	他
事	故	故	害	事	故	害	事	負	害	損	病	他
故	計	故	害	故	故	害	故	傷	害	為	病	他
男	933	4	0	0	101	21	10	156	2	5	633	1
女	807	0	0	0	63	3	2	126	2	7	598	6
合 計	1,740	4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7
新 生 児 (生後28日以内)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
乳 幼 児 (29日～7歳未満)	67	0	0	0	3	0	0	18	0	0	43	3
少 年 (7歳～18歳未満)	59	0	0	0	9	0	7	11	0	0	31	1
成 人 (18歳～65歳未満)	545	3	0	0	112	17	5	48	3	10	346	1
老 人 (65歳以上)	1,068	1	0	0	40	7	0	205	1	2	810	2

傷病程度別搬送人員

種 別 程度別	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	然	難	通	働	動	般	損	損	病	の
事	故	故	害	事	故	害	事	負	害	損	病	他
故	計	故	害	故	故	害	故	傷	害	為	病	他
死 亡	33	0	0	0	1	0	0	2	0	0	30	0
重 症	154	0	0	0	4	3	0	19	0	2	125	1
中 等 症	638	2	0	0	30	11	3	93	0	3	490	6
軽 症	914	2	0	0	129	10	9	168	4	6	586	0
そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合 計	1,740	4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7

死 亡・・・初診時において死亡が確認されたもの。

重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症・・・傷病の程度が入院加療を必要とし、その期間が3週間未満のもの。

軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

その他・・・診察拒否等、医師の診断がないもの。

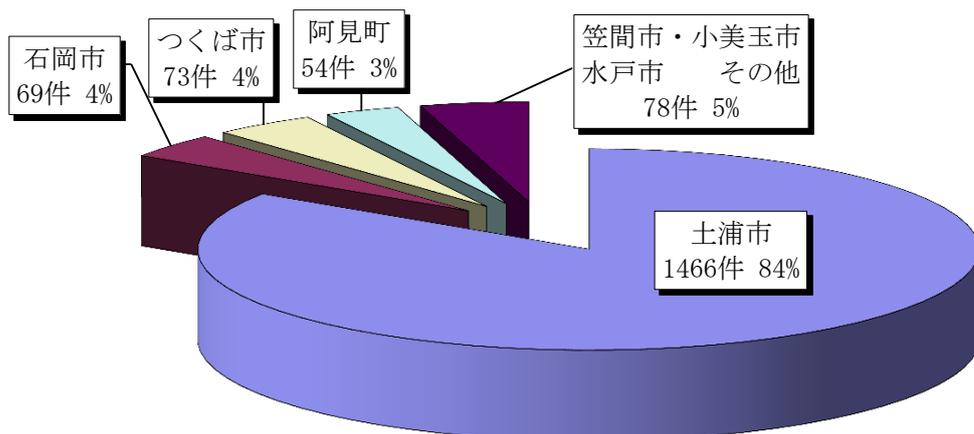
医療機関別搬送人員

市町村別	病院別 事故種別	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
土浦市	土浦協同病院	4	0	0	60	13	7	152	3	10	763	7	1,019
	神立病院	0	0	0	54	4	4	77	1	1	138	0	279
	霞ヶ浦医療センター	0	0	0	17	2	0	12	0	0	110	0	141
	その他の病院	0	0	0	1	1	0	4	0	0	21	0	27
石岡市	山王台病院	0	0	0	11	0	0	5	0	0	32	0	48
	石岡第一病院	0	0	0	0	0	0	4	0	0	10	0	14
	石岡医師会病院	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	5
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
つくば市	筑波メディカルセンター病院	0	0	0	1	0	1	5	0	1	13	0	21
	筑波大学附属病院	0	0	0	1	0	0	2	0	0	25	0	28
	筑波記念病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4
阿見町	東京医大茨城医療センター	0	0	0	7	1	0	4	0	0	42	0	54
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
笠間市	茨城県立中央病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
小美玉市	石岡循環器科脳神経外科病院	0	0	0	9	2	0	11	0	0	40	0	62
水戸市	水戸医療センター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	水戸済生会病院	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	0	6
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
合計		4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7	1,740

(人)

医療機関別に搬送人員をみると、土浦協同病院が最も多く1,019人で次いで神立病院の279人となっている。また、市町村別医療機関の搬送人員をみると、土浦市内の医療機関への搬送が84%とほぼ大半を占めている。

医療機関搬送先状況



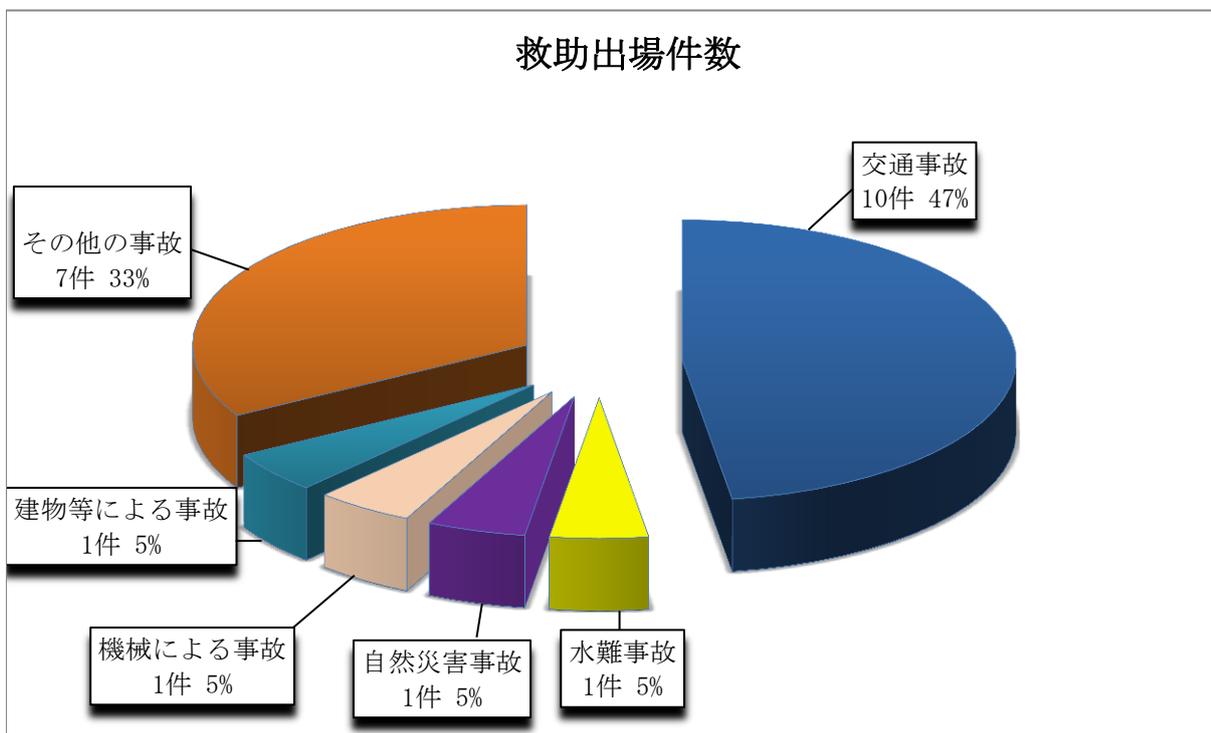
救助活動状況

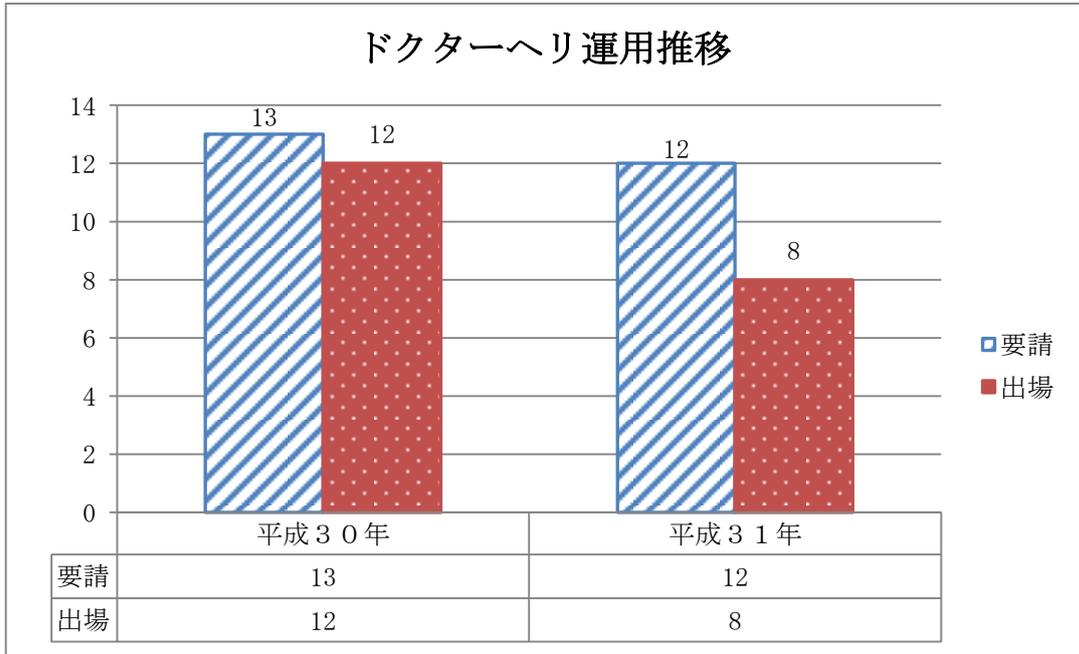
平成31年における当消防本部の救助活動状況は、出場件数21件のうち活動件数は19件、救出した人員は15人でした。原因別に見ると交通事故による救助活動が最も多く10件、次いでその他の事故となっています。昨年と比べると、交通事故、建物等による事故、その他の事故の出場件数は減少し、自然災害事故、機械による事故の出場件数は増加という結果となりました。

救助出場状況

事故種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	よ り 及 び 事 故	ガ ス 欠 乏 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外										
出 場 件 数	0	0	10	1	1	1	1	0	0	0	7	21
出 場 人 員	0	0	118	32	26	10	9	0	0	0	66	261
活 動 件 数	0	0	10	0	1	1	0	0	0	0	7	19
活 動 人 員	0	0	103	0	17	10	0	0	0	0	47	177
救 出 人 員	0	0	9	0	1	1	0	0	0	0	4	15

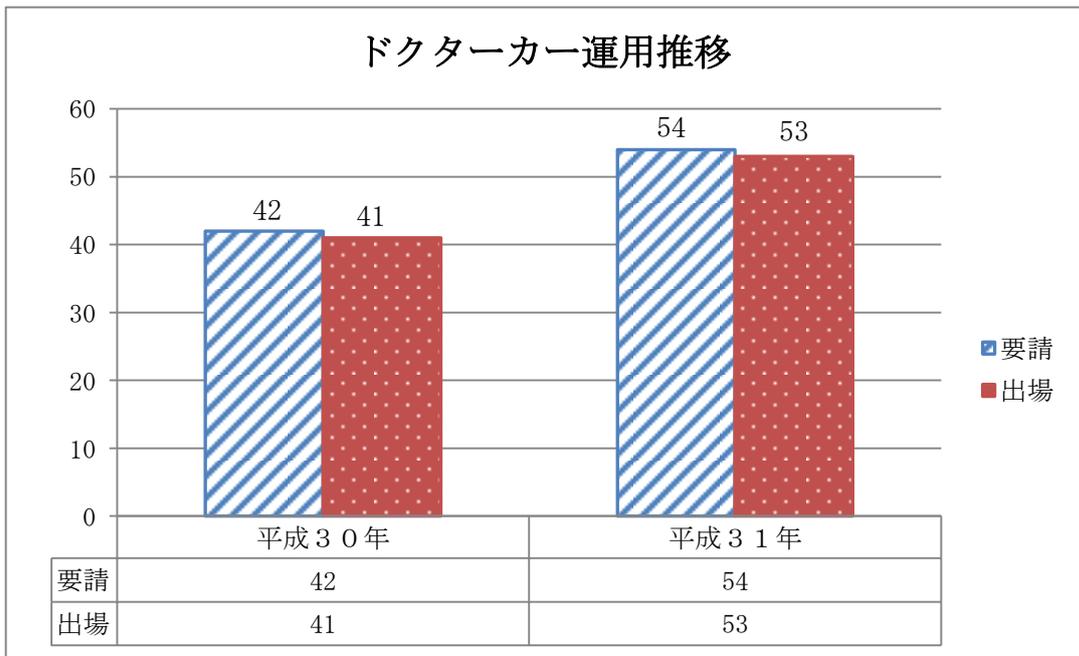
救助出場件数





救急現場において、以下の条項が認められているときに要請します。

- ・ 生命の危機が切迫しているか、その可能性があるとき
- ・ 重症患者であって搬送に長時間を要することが予想される時
- ・ 特殊救急患者（重症熱傷，多発外傷，四肢切断）で搬送時間の短縮を特に図るとき
- ・ 救急現場で緊急診断処置に医師を必要とする時
- ・ 多発傷病者発生の場合



＊ドクターヘリ・ドクターカー出場件数

平成31年におけるかすみがうら市への出場件数は以下のとおりである。

- ・ ドクターヘリ かすみがうら市への出場
(平成30年：12件 平成31年：8件)
- ・ 土浦協同病院ドクターカー かすみがうら市への出場
(平成30年：41件 平成31年：53件)